

第2回鵜沼地区まちづくりタウンミーティング
みんなで考えよう地域の新しいカタチ

“鵜沼市民センター・鵜沼公民館建替えに向けた”

まちづくり意見交換会

実施報告書

令和6（2024）年2月14日

鵜沼地区郷土づくり推進会議 B委員会



<目次>

1. 実施概要
2. プログラム
3. 意見交換会の様子（写真）
4. 意見交換会の討議内容（住民の思い）
5. アンケート結果
6. さいごに

1. 実施概要

- 目的：市民センターで行った再整備のための意見をさらに深掘りし、この地域住民の意見（思い）を広聴する機会としたい
意見交換会を通じて、“住民交流拠点”としての新しい市民センター・公民館に対する住民の意見（思い）を集めたい
- 実施日時：令和6（2024）年1月27日（土）13:30～16:15
- 実施場所：鶴沼市民センターホール
- 参加者数：40名（ファシリテーター5名、記録係5名、参加者30名）
- メインテーマ：「こんな市民センター・公民館になったら面白い！
こんな使い方をしてみたい！」
- グループ：以下の5グループに分かれて意見交換を実施
 - ①防災 ②住民交流・地域の居場所 ③サークル・学びの場
 - ④子育て支援 ⑤福祉活動

2.プログラム

3

| # | 項目 | 進行 | 内容 | 開始時刻 |
|---|------------------|---------------|--|-------------------|
| 1 | 開会の挨拶 | 推進会議議長 | 開会の挨拶、これまでの活動の振り返り、本会への期待を説明 | 13:33 |
| 2 | 再整備計画説明 | 鶴沼市民センター長 | 再整備計画に関する概要説明と今後の予定を説明 | 13:37 |
| 3 | 質疑応答 | | 質疑応答 | 14:20 |
| 4 | 休憩 | 司会 | 意見交換会の準備を行う | 14:30 |
| 5 | 意見交換会開始 | 司会 | ・意見交換会の開始宣言及び前回タウンミーティング振り返り ・意見交換会の進め方、グループルールを説明 メインテーマ：「こんな市民センター・公民館になったら面白い！こんな使い方をしてみたい」 グループ：①防災 ②住民交流・地域の居場所 ③サークル・学びの場 ④子育て支援 ⑤福祉活動 | 14:40 |
| 6 | 意見交換会 | ファシリテーター | グループに分かれて意見交換（1回目：30分、2回目：25分） →ファシリテータ：1名、記録係：1名、参加者4～6名でグループを構成。ワールドカフェ形式で実施 | 14:50 |
| 7 | グループ発表 | | ファシリテーターから意見交換の内容発表（約3分×5グループ） | 15:50 |
| 8 | 総評・振り返り 閉会の挨拶 | 推進会議 B委員会長 | ・意見交換会全体の講評（総括） ・今後の活動予定の説明→本会で出された住民の意見（思い）をまとめ、市の基本構想検討の際の参考にしてもらうこと | 16:10 |
| 9 | 連絡事項 | 司会 | ・アンケート記入の案内 ・次回街歩きイベント「鶴キュン♡ロゲイリング（仮称）」の紹介 | 16:13 (16:15完) |

3.意見交換会の様子（写真）



4.意見交換会の討議内容（住民の思い）

①防災（1/3）

【論点整理】

1. **公民館での避難訓練の実施の要望**：公民館利用者・職員向け避難訓練（日中・夜間）が必要
2. **訓練内容の追加要望**：通常の避難訓練では行わないが、発災時には必要となる行動を避難訓練時の項目に入れて事前に体験する：避難所の一人当たりのスペースの狭さを体験/マンション入口のドアを破る体験/マンションの衝立を破る体験/水の中を歩く体験
3. **事前の周知を要望**：避難タワーの開錠方法/防災倉庫の開錠方法/発災時の水洗トイレの使用方法
4. **避難時の事前解決**：避難道路幅が狭い/発災時の踏切遮断時の対応
5. **観光客への避難方法を周知する**：公民館として周知する
6. **訓練で気付いた改善内容を解決**：避難道路上の避難記号を知らない
7. **公民館建替え時の機能**：一時避難所だけの機能で良いのか/3階以上は出来ないのか/予算不足なら収益上げる仕組みを導入してはどうか
8. **救援物資**：公民館は救援物資拠点であって欲しい/救援物資配布時の担当/ルール事前準備
9. **市への要望**：トイレ処理車の導入/避難ビル数増やす/避難タワー数増やす/避難ビル機能に『パニックオープン』機能（震度によりドアが開く）が付いて居るか調査し公表してほしい

※①防災グループの討議結果を次ページ示します。

4.意見交換会の討議内容（住民の思い）

①防災（2/3）

| No. | 意見交換会の記録（出された意見・思い・課題・要望など） |
|-----|--|
| 1 | 公民館で避難訓練をしないのか |
| 2 | 公民館の夜間の訓練は無いのか |
| 3 | 公民館で避難体験（火を起こしてみる等）出来ないか |
| 4 | 避難生活してみると体感できる |
| 5 | 避難所の一人当たりのスペースの狭さを体験してみる |
| 6 | マンションの衝立を破る体験はしたことが無い |
| 7 | 総合防災訓練で水の中を歩く訓練がある、体験してほしい。この周知の方法が分からない |
| 8 | 避難時にマンションに入れるのか（ドアを破る等） |
| 9 | 避難タワーの開錠の仕方も分からない |
| 10 | 防災倉庫の開錠の仕方が分からない |
| 11 | 避難訓練で400人が集まった（鵜沼海岸2丁目） |
| 12 | 発災時に水洗トイレは流してはいけない |
| 13 | 発災時に避難する際の道路幅が狭い |
| 14 | 発災時に踏切を通れるのか→現行のルール確認要（勝手に開けられる？） |
| 15 | 観光客等、初めて公民館に来た人にも逃げ方が分かるようにする |
| 16 | 観光客の避難について市の周知が必要 |
| 17 | 避難訓練が生かされていない |
| 18 | 以前、避難経路を使った訓練をした事があるが、道路上の避難記号表示等を周知が必要 |
| 19 | 公民館建替えは一時避難所の機能だけ |

4.意見交換会の討議内容（住民の思い）

①防災（3/3）

| No. | 意見交換会の記録（出された意見・思い・課題・要望など） |
|-----|--|
| 20 | 公民館建替えて4階建ては出来ないか |
| 21 | 公民館建替え時の施設複合化について事前に相談は有るのか |
| 22 | 予算不足とのことだが公民館を収益が上げられる施設に出来ないか |
| 23 | 公民館には発災時に救援物資の拠点に成ってほしい |
| 24 | 災害ボランティアセンターが立ち上がれば公民館が物資拠点と成りうる |
| 25 | 救援物資配布時の担当／ルールが無いと困るのでは無いか、日頃の用意は必要 |
| 26 | 発災時は地元以外の方の避難について食料品配布、トイレ処理等発生する。市にもトイレ処理車を準備してはどうか |
| 27 | 避難ビル指定が外された為、避難収容人数が大幅に減った |
| 28 | 海岸の避難タワーの数量が少ない |
| 29 | 最近のビルには『パニックオープン』機能（震度によりドアが開く）が有るが、避難ビルにはあるのか |

4.意見交換会の討議内容（住民の思い）

②住民交流・地域の居場所（1/3）

【論点整理】

1.つながりづくり

- ①地域の誰もが参加でき、仲間づくり、活動の場、居場所・安らげる場、新しいつながりを期待
- ②ボランティアや自治会行事で多世代とつながると、若い世代が担い手になることも

2.多世代が交流するスペース

- ①子どもから高齢者まで世代を越えて人が集まり、情報共有(子育てや介護なども)できる場
- ②心やすらぎ誰もが自由に参加できる場

3.フリースペース・オープンスペース

- ①予約なしで自由に使え、気軽に集まれ、飲食可、居場所や縁側のような場、団体ロッカー希望
- ②放課後の子どもの居場所、Wi-Fi完備した学習室、(学生ボランティアの活動の場)

4.障がい者や高齢者が活躍する施設・カフェ

5.施設は細かく用途を決めず、使いながら変更可能なものに

6.民間施設を入れ、収益を得る

7.施設の分散化の利点

今ある施設を活用する。近くの小さなコミュニティスペースが必要。避難施設の分散化

※②住民交流・地域の居場所グループの討議結果を次ページ示します。

4.意見交換会の討議内容（住民の思い）

②住民交流・地域の居場所（2/3）

| No. | 意見交換会の記録（出された意見・思い・課題・要望など） |
|-----|--|
| 1 | この地区で一生のつき合いを。仕事のつき合いから地域のつき合いに |
| 2 | 子どものつながりがない世代の方も参加できる場 |
| 3 | 地元の友達がいらない、活動の場が欲しい |
| 4 | 居場所、安らげる場所に。子どもも大人も集まれる場に |
| 5 | 高木ふれあい荘の庭の手入れ、約30人のボランティアが集う。(部屋)建物があるだけでなく、安らぐ場、自由に参加できる場が必要 |
| 6 | 高齢者～子どもそれぞれの施設から交流ができるものになれば |
| 7 | 鶴洋小学区、地域の祭りがなくつながりがない地区。そんな人たちも加われる |
| 8 | 子どもから大人まですべての人が集まれる場ができれば、公民館の集客・来館につながる |
| 9 | おやじの会も結成から20年経ちメンバーも70代～30代と幅広い。居場所があれば世代間がまとまる |
| 10 | 「つながろう鶴沼」で各自治会の中でのつながりについて話し合う。小学校の旗振り4人で交代。子どもたちと顔のつながりができ、自治会行事でも親世代、祖父母世代もつながる |
| 11 | 高齢の母がささえサロンを楽しみにしている。週1回藤が谷市民の家に行くのがちょうどいい。こうした小さなコミュニティスペースをたくさん作り、公民館はそれを集約するスペースに |
| 12 | 青空体操(@緑の広場)、週3回45分、4年続いてつながっている。自治会の担い手不足と言われるが、若い世代（PTA）とのつながりがあり、若い世代が役員になってくれる |
| 13 | 初めから細かく決めず、自由なスペースに |
| 14 | 予約なしで気軽に集まりができる場が欲しい |
| 15 | 団体ロッカー、オープンスペース、飲食ができ、自由に使えるスペース希望 |

4.意見交換会の討議内容（住民の思い）

②住民交流・地域の居場所（3/3）

No. 意見交換会の記録（出された意見・思い・課題・要望など）

- 16 孤独な子育ての方もいれば、そこを手伝える子育てが終わった方もいる。介護も突然始まるので、人が集まる場があれば事前に知る機会、きっかけにもなる
- 17 居場所になるような、縁側の様なスペースを希望
- 18 藤沢市市民活動推進センターのような団体ロッカーや、小田原UMEKOなど自由に使えるスペース。茅ヶ崎青少年会館、夕方の子どもの居場所に。大学生が勉強を教えてくれるスペースがある
- 19 民間施設を入れれば収益を希望できる
- 20 避難所としては、施設の分散がよいのでは
- 21 複合化もよいが、分散化することも必要。今ある施設をそのまま活用する。拠点が分散される利点もある。バリアフリーもしやすい
- 22 藤沢市の中でも鵜沼は高齢者が多い地区。地域で高齢者ボランティアを経験。だんだんボランティアに來れなくなる。公民館の定義をもう一度考え直し、自治会単位など、近くで集える場、市民の家のような場も必要。自由に集え、津波対策考えた施設に
- 23 障がい者や、高齢者が活躍（地域の人が地域の人に提供）する施設・カフェがあったら
- 24 若者が自由に集えるWi-Fi完備した学習室

4.意見交換会の討議内容（住民の思い）

③サークル・学びの場（1/3）

【論点整理】

- 1.公民館の再整備にあたっては**PFI（民間資金を活用して公共事業を実施する手法）**を導入し、民間に委託することによって収益をあげたい
 - ・PFIの導入により**高グレードな建物の建築、キャパシティの増大、多様なサービスの提供**が期待できる
 - ⇒PFI導入により専門的な**民間企業の経営**が生かせるが、**収益性が上がらなくなると撤退**してしまう
 - ⇒市民センター・公民館の再整備にあたっては採用する手法を分けることが考えられる
 - ・**市民センター：市が担当** ・**公民館：民間（PFI）**
- 2.公民館の規制を緩和することで**多様な使い方が可能となり収益も上げられる（レストラン、専門の教室）**
- 3.元々の**公民館としての役割（社会教育の場、学びの場としてのサークル）**を充実させたい
- 4.設備に関する要望として①**コンサートができる音楽室**、②**入りやすくゆっくりすわって本の読める図書室**、③**ネットワーク環境(Wi-Fi)の整備**などがあった
- 5.スペースに対する要望として①**予約不要**②**個人利用の場（勉強、在宅勤務）**③**お茶が飲める**、があった
- 6.①**仲間作り**ができるサークル、②**地域と関り**があるサークルを望む声があった
- 7.公民館を行きやすくするため①**話題性**、②**魅力ある公民館のPR、宣伝**を求める声があった
- 8.なぎさ荘等を**統合しすぎる**ことを問題視する意見があった

※③サークル・学びの場グループの討議結果を次ページ示します。

4.意見交換会の討議内容（住民の思い）

③サークル・学びの場（2/3）

No.意見交換会の記録（出された意見・思い・課題・要望など）

- 1 PFI 民間に委託して収益をあげたい
PFIを導入することによって、横並びの公民館・センターを建てるのではなく、よりグレードの高い建物が建てられる。
また、収益を上げてはならないという制約が無くなるので、より多様なサービスが提供出来るようになる 例、カフェ、興行
- 2 藤沢市はあまりPFIをしていない。収益を上げることで色々な機能を入れられる。キャパを増やせる
- 3 PFIの導入などにより収益を上げることと、社会教育の場としての機能を保持することのバランスをとりたい
- 4 PFI導入により専門的な民間企業の経営が生かせる例
一方で、収益性が上がらなくなると撤退してしまうケースがあることも考えなくてはいけない。
また、市民センターは市、公民館は民間（PFI）という組み合わせも考えられる。
- 5 公民館 規制の緩和、
多様化した使い方、パーティ、カフェ、レセプション、法事（昔は結婚式もできた）
夜間に学習塾に部屋貸したりして収益を上げる
- 6 民間の音楽教室（専門性）を入れる ー 収益
- 7 カフェ+図書館 レストラン → 収益
- 8 公民館は社会教育の場であったが、社会教育主事が不在になってしまった。
サークル活動は地域の学びの場であった。公民館の元々の学びの場としての役割を充実させたい。本来の機能を充実させたい

4.意見交換会の討議内容（住民の思い）

③サークル・学びの場（3/3）

| No. | 意見交換会の記録（出された意見・思い・課題・要望など） |
|-----|--|
| 9 | 防音、コンサートができる場所 音楽関係 |
| 10 | 図書室 ー すわってゆっくり読書できる場所 |
| 11 | 図書館が入りにくい、藤沢市南図書館並みにしてほしい |
| 12 | ネット状況が悪い・・・Wi-Fiが使えない インターネット接続、利用環境を整備してほしい。発信力を向上させたい |
| 13 | 予約なしで使用できるところが欲しい オープンスペース |
| 14 | 在宅で仕事をできるスペースも欲しい |
| 15 | 誰でも使用できる、気楽にお茶が飲めるところ |
| 16 | 部屋の大きさはパーティションで区切って自由に使いたい |
| 17 | 仲間づくりができるサークルがあってほしい |
| 18 | 地域との関り。サークル活動がその場となる |
| 19 | 話題性を作って公民館に行きやすくしたい 子ども中心の地域だと子どもがいない人には活用しにくい 誰でも入りやすい公民館 ー 宣伝 PR 魅力ある公民館 |
| 20 | なぎさ荘等を統合しすぎるのも問題 予約は必要 |

4.意見交換会の討議内容（住民の思い）

④子育て支援（1/2）

【論点整理】

1.子育て世代（プレママ、乳幼児～小学生とその親）の観点の配慮

- ①授乳・オムツ替えスペース、ベビーカーでの利用・置き場（バリアフリー）

2.子育て支援の拠点

- ①子育ての情報収集、相談の場
- ②施設の集約化するのであれば、子育て世帯の様々なニーズに関する機能が加わることを希望
- ③小学生がいる働く世帯を支える場（緊急学童、つなぎ学童など）→小学一年の壁問題

3.子どもの家の課題

イベント以外は利用者が少ない、現状の検討が必要。

施設の集約化で、子育て世帯の様々なニーズに関する機能が加わる

4.子育て世帯の拠り所として

- ①多世代と交流でき、繋がれる場
- ②ふらっと立ち寄れる場、飲食ができ、オープンな雰囲気、近くで子どもを遊ばせられ、遠目で見守れる（見守る人の常駐）
- ③高校生、大学生のボランティアの参加で双方に多くの気づきがある

5.出店できるレンタルスペース（起業のきっかけづくり）

若者やセカンドステージのきっかけの場

※④子育て支援グループの討議結果を次ページ示します。

4.意見交換会の討議内容要約（住民の思い）

④子育て支援（2/2）

| No. | 意見交換会の記録（出された意見・思い・課題・要望など） |
|-----|---|
| 1 | 出産前も含め乳幼児とその親、小学生とその親 |
| 2 | 授乳、オムツ替えスペース |
| 3 | ベビーカーでの利用、置き場（バリアフリー） |
| 4 | 子育ての情報が集められる、相談できる |
| 5 | 繋がれる |
| 6 | ホッとできる |
| 7 | ふらっと予約なしに立ち寄れる |
| 8 | 小学生を育てながら共働きしている世帯を支える場（緊急学童、つなぎ学童など） |
| 9 | 現状の子どもの家はイベント時などを除き利用が少ないのが現状 |
| 10 | 今までの戸建の子どもの家の魅力も捨てがたい |
| 11 | ふじさわ子どもの家のようなFプレイスの中に閉じ込められた作りは魅力ない |
| 12 | 様々な子育てファミリーに関する機能が加わると魅力がアップし、子育て支援の拠点になれる |
| 13 | 立ち寄りたいたいと思わせる魅力が必須 |
| 14 | オープンなスペース |
| 15 | 飲食ができる（持ち込み、カフェ、キッチンカー） |
| 16 | 出店できるレンタルスペース（起業のきっかけづくり） |
| 17 | 多世代が交流できる、ファミリーで来れる |
| 18 | 高校生、大学生のボランティアを運営（見守り）に取り込む→双方に多くの気づきがある |
| 19 | 子どもの家とつかず離れずの良い距離感があると良い。 |
| 20 | 高校生、大学生のボランティア組織に関して公益社団法人ハーモニィセンターを参考にしたらいかが |

4.意見交換会の討議内容（住民の思い）

⑤福祉活動（1/2）

【論点整理】

1.求める場

- ①ボランティアの拠点
- ②高齢者と子どものふれあいの場
- ③不登校の子どもの居場所
- ④自然な助け合いの場

2.求める場のあり方

- ①気軽に立ち寄り、話を聞いてもらえ、相談ができる
- ②自由に（予約なし・ひとりでも・居心地良い・長居できる）市民センター、町内会館での環境づくり

3.相談窓口

CSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）に相談できる窓口

4.情報共有

- ①地域包括支援センターの居場所や、地域の縁側事業が知られていない
- ②情報を知ることができない
- ③情報があふれて届かない ④情報の整理や発信ができない ⑤SNSやネットで情報を得ている

※⑤福祉活動グループの討議結果を次ページ示します。

4.意見交換会の討議内容（住民の思い）

⑤福祉活動（2/2）

No. 意見交換会の記録（出された意見・思い・課題・要望など）

- 1 C S W（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）にいつでも相談できる窓口があったら良い
- 2 C S Wにつながる窓口が多いと良い
- 3 いつでも話を聞いてもらえる拠点になってほしい
- 4 気軽に相談できる場が欲しい
- 5 民生委員、月1回の定例会にC S Wが来てくれるが、もっと回数を増やしてはどうか
- 6 不登校の子供達の場所作り（鵜沼中学校では始めている）
- 7 気軽に立ち寄って話のできる所が欲しい
- 8 町内会館や市民センターで自由に出入りできる環境作り
- 9 新しい市民センターに誰でも立ち寄れる場所があったら良いなと思う
- 10 高齢者と子供とのふれあいの場（相方の生きがいにつながる）
- 11 「ささえ」が入るならばボランティアの拠点に
- 12 お金かけず自然な助け合いの場が増えれば良い
- 13 福祉の考え方とは？
- 14 地域包括支援センターの居場所が知られていない
- 15 色々な情報（包括や縁側）がキャッチできない
- 16 情報、やっている事とか、いろいろあっても知ることができない
- 17 L I N Eやネットで情報を得ている
- 18 情報があふれているが届かない
- 19 人手が無いために情報の整理が出来ていない(発信側)

5. アンケート結果 (1/3)

1. 年齢をお聞かせください

| | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 20歳代 | 1 | 4.0% |
| 30歳代 | 1 | 4.0% |
| 40歳代 | 1 | 4.0% |
| 50歳代 | 11 | 44.0% |
| 60歳代 | 7 | 28.0% |
| 70歳代 | 4 | 16.0% |
| 合計 | 25 | 100.0% |

今回は、前回と違い30代、40代をターゲットとしたテーマでなかったこともあり、参加者は50歳以上が86%を占め、若い世代の参加が少なかった

2. 2023年3月に実施したタウンミーティングに参加しましたか

| | | |
|------------|-----------|--------------|
| はい | 9 | 36.0% |
| いいえ | 16 | 64.0% |
| 合計 | 25 | 100.0% |

前回と続けてタウンミーティングに参加してくれた方が36%もいた

3. 本日のタウンミーティングを知ったきっかけ (複数回答)

| | | |
|----------------|----------|--------------|
| 回覧板 | 7 | 25.9% |
| 藤沢からのLine | 2 | 7.4% |
| 知人からの紹介 | 9 | 33.3% |
| その他 | 9 | 33.3% |
| 合計 | 27 | 100.0% |

「知人からの紹介」が最も多かった。今回は関係者による積極的な案内の成果だと思われる一方で、多様かつ効果的な手段による情宣活動と参加促進策が必要と思われる

4. これまで鶴沼市民センター・公民館を利用したことはありますか

| | | |
|------------------------------|-----------|--------------|
| 市民センターとしても公民館としても利用した | 17 | 68.0% |
| 市民センターとして利用した | 3 | 12.0% |
| 公民館として利用した | 3 | 12.0% |
| これまで一度も利用したことはない | 2 | 8.0% |
| 合計 | 25 | 100.0% |

市民センターと公民館の両方を利用したことがある方が多かった。これは、日ごろから両施設を利用している方は再整備に関心があり、思いが強いことが窺われる

5. アンケート結果 (2/3)

5. 市民センター長からの「再整備計画の進捗状況について」の話について

| | | |
|------------|----|--------|
| とても理解できた | 19 | 76.0% |
| やや理解できた | 6 | 24.0% |
| やや理解できなかった | 0 | 0.0% |
| 理解できなかった | 0 | 0.0% |
| 合計 | 25 | 100.0% |

「理解できなかった」「やや理解できなかった」が0%であり、センター再整備の構想や検討状況の様子は伝わったものと思われる

6. 意見交換会の感想はどうでしたか

| | | |
|-----------|----|--------|
| とても良かった | 20 | 80.0% |
| 良かった | 5 | 20.0% |
| あまり良くなかった | 0 | 0.0% |
| 良くなかった | 0 | 0.0% |
| 合計 | 25 | 100.0% |

「良くなかった」「あまり良くなかった」が0%であった。これは意見交換会がスムーズに進み、住民の思いが発出・共有できたものと思われる

7. 今後開催の住民交流や住民の思いの発信の場づくりを目的としている タウンミーティングの参加意向はありますか

| | | |
|------------|----|--------|
| 是非参加したい | 20 | 80.0% |
| 参加したい | 5 | 20.0% |
| あまり参加したくない | 0 | 0.0% |
| 参加したくない | 0 | 0.0% |
| 合計 | 25 | 100.0% |

「是非参加したい」が80%があり、これは住民交流や意見交換の場がさらに求められていることを示したものとなっている。今後のタウンミーティングへの参加意向は高いと理解できる

8. 5月に実施する鶴沼の街歩きイベントに参加してみたいですか

| | | |
|------------|----|--------|
| 是非参加したい | 6 | 24.0% |
| 参加したい | 17 | 68.0% |
| あまり参加したくない | 2 | 8.0% |
| 参加したくない | 0 | 0.0% |
| 合計 | 25 | 100.0% |

「是非参加したい」「参加したい」で9割以上を占めたが、これは自分の住んでいる鶴沼を深く知り、お互いのつながりを求めている思いの表れと捉えることができる

5. アンケート結果 (3/3)

9. その他本日のタウンミーティングについてご意見があればご記入ください

- ・すてきな意見がたくさん出て、有意義でした
- ・街歩きイベントへの質問ですが、内容によって参加したい
- ・ありがとうございました。一日も早く安全で人が集える場になりますように。どうぞ宜しくお願いいたします
- ・非常に有意義でした
- ・有意義な議論ができ、よかったです。いろんな事情がわかりました
- ・センター長の説明が分かりやすく、意見交換する前準備としてとても良かった。他の地区も見習いたいと思いました。私は他地区ですが、生まれ育った鵜沼地区の皆さんがわりと多世代の参加もあって夢や希望を出し合ってることに元気をもらいましたし、まちづくりに関わって行きたいと思わせてもらいました！市民センターの役割としては、各地区のセンターや公民館が今後果たして画一的であることが必要なのか、考えさせられました。それぞれの地区の求められることも違うのではないかと、そういう在り方もアリなのかな、と感じました。ありがとうございました
- ・色々な情報を知ることが出来てとても勉強になりました。手違いで申し込みの送信ができていませんでしたが、参加させてくださりありがとうございました
- ・建物配置検討の一例の図が分かりにくい
- ・公民館の建て替えが待たないのだという、災害時の安全性についてよくわかりました

6.さいごに

今回、市民センター・公民館の再整備をテーマに、住民の意見（思い）をすくい上げるべくタウンミーティング（意見交換会）を開催したが、アンケート結果を見る限りではその目的はほぼ果たせたかと思われる

ただし、今回の参加者に若い世代が少なかったため、幅広い世代にわたる意見（思い）を集約できたとは言いきれず、真の意味で地域住民に愛され親しまれる市民センター・公民館にするためには今後の意見集約の中でこれらの世代の声も収集し反映していくことが必要と考える

今後は、住民の意見（思い）を市民センター・公民館建替えに関する藤沢市の再整備基本構想検討に活かしてもらうべく、本実施報告書を「鵜沼地区郷土づくり推進会議」からの提案として提出し活用を図ってもらう働きかけをしていきたい

また同時に、鵜沼地区郷土づくり推進会議B委員会としては、第1回まちづくりタウンミーティングにて「鵜沼をどんなまちにしたいか」というテーマで話し合わせ導き出された“地域（鵜沼）をもっと知り、地域住民の交流を活性化する”事業を継続して、市民が思い描く（希望する）鵜沼の姿を共に求めていきたい

本件の問い合わせ先

鵜沼市民センター 地域づくり担当

〒251-0037 藤沢市鵜沼海岸2-10-34

Tel : 0466-33-2001 Fax : 0466-33-2203